

ヘブル
人への
手紙

4

御言葉に 砕かれてこそその 信仰者

ヘブル人への手紙4章

刺し貫く生きた御言葉

Shikaoichurch.com

みなさん、打ち砕かれてますか？

最近、どんなことで打ち砕かれましたか？

ヘブル4：12を体感しながら歩んでますか？

「神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。」



I. イントロダクション

ヘブル人への手紙とは？

- **著者** …記載なし。諸説あり **パウロ?!**
…メシアニック・ジュー(第二世代?!)
- **宛先** …**メシアニック・ジューの**
ディアスポラ(離散のユダヤ人)
ペテロの手紙と同じ教会(**小アジア?**)
- **場所・時期** …エルサレム陥落(BC70)前
ローマ? **エペソ?!**
- **内容** …ユダヤ教に回帰しようとする人々へ
信仰の基本的内容の確認、促し。



1～3章の振り返り

①メシアは神・創造主

➡神に仕える被造物にすぎない**天使**とは違う

②メシアは、真の**大祭司**。神と人との完全な仲介者。

➡レビ人のアロンの系譜である、**祭儀上の大祭司**とは違う

③メシアは、**イスラエルを導く神**

➡イスラエルの人間の指導者にすぎない**モーセ**とは違う

メシアは創造主、大祭司、イスラエルを導く神

御言葉に砕かれてこそその信仰者

- ①主に信頼し 4:1～11
- ②打ち砕かれ 4:12～13
- ③御国に近づく 4:14～16

まとめと適用

日々、御言葉に打ち砕かれ、
御国に近づいていこう!!



荒野に咲く花



①主に信頼し

ヘブル人への手紙4章1～11節

シナイ半島・ホレブ山地

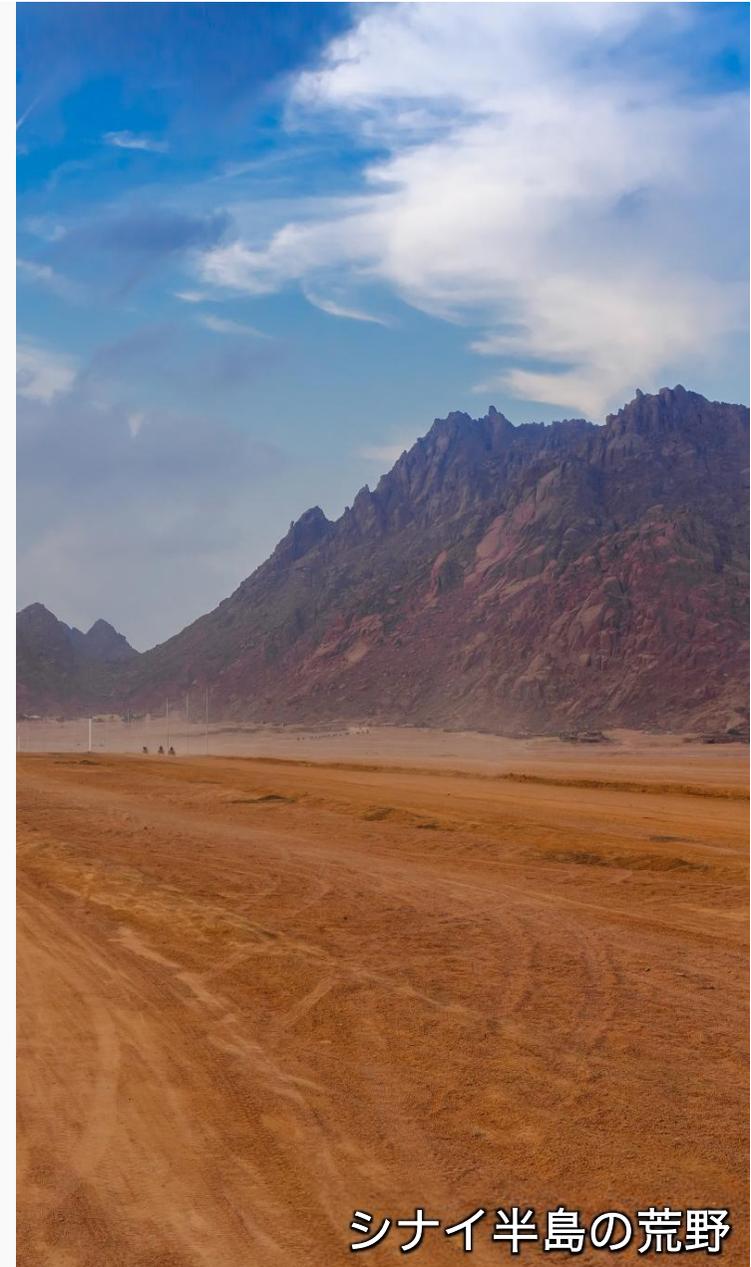
①主に信頼し ヘブル4:1

こういうわけで*、私たちは恐れる心を持つようではありませんか。神の**安息**に入るための**約束がまだ残っている***のに、あなたがたのうちのだれかが、そこに入れなかったということのないようにしましょう。

*かたくななイスラエルは荒野で裁かれた。

*主イエスの福音を信じるなら、

永遠の安息(救い)を得る道が残されている。



シナイ半島の荒野

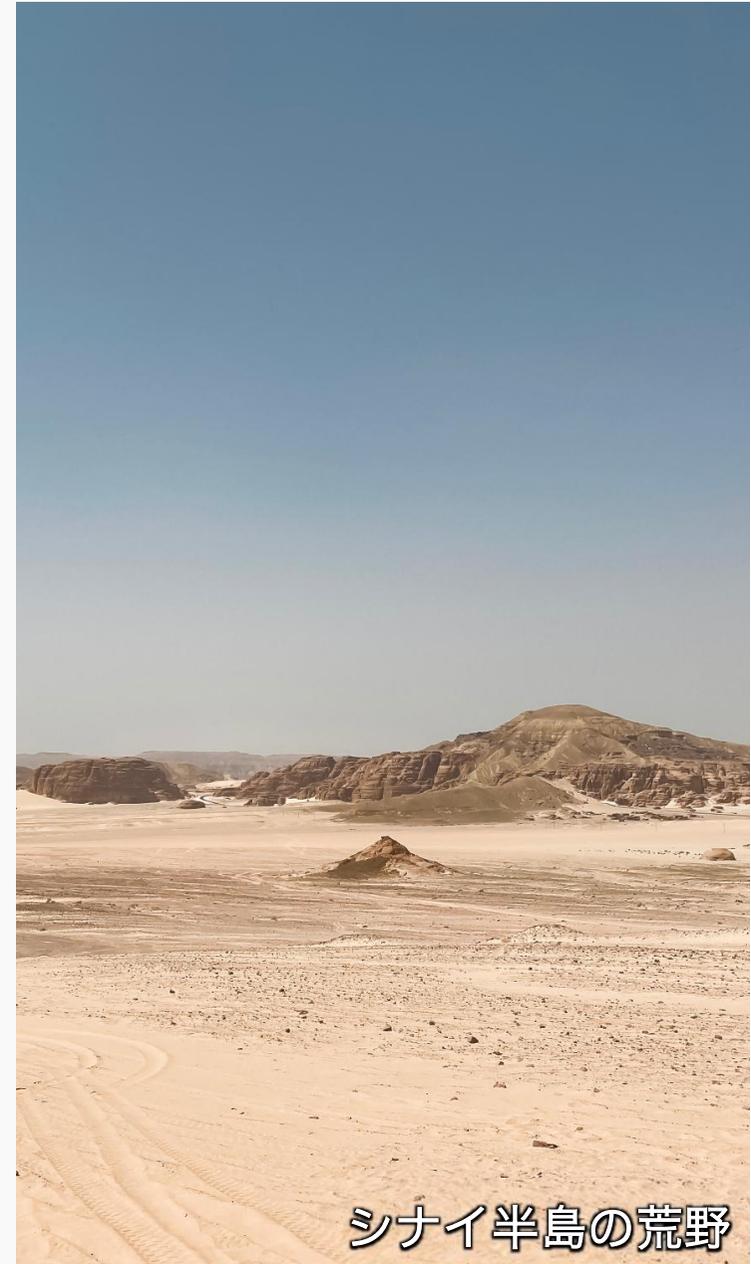
①主に信頼し ヘブル4:2

というのも、私たちにも良い知らせが伝えられていて、**あの人たち***と同じなのです。けれども**彼ら**には、聞いたみことばが益となりませんでした。みことばが、聞いた人たちに信仰によって結びつけられなかったからです。

*福音を信じなかった、拒絶した人々

■救いの御言葉も、

信じない人には、何の益にもならない。



シナイ半島の荒野

①主に信頼し ヘブル4:3

信じた私たちは**安息**に入りますが、「わたしは怒りをもって誓った。『彼らは決して、わたしの**安息**に入れない*』」と神が言われたとおりなのです。もっとも、世界の基が据えられたときから、みわざはすでに成し遂げられています。

*詩編95:11。荒野の40年。

■天地創造の前から神の救いの計画が!!

時を超越した永遠の神の目にはすでに完遂



シナイ半島の荒野

①主に信頼し ヘブル4:4~5

なぜなら、神は第七日について、あるところで「そして神は、第七日に、すべてのわざを終えて休まれた」と言われ、そのうえで、この箇所、「彼らは決して、わたしの**安息**に入れない」と言われたからです。

- 詩編95篇の「安息」が、
安息日のことではないのは明らか。
→神の永遠の安息・救いこと!!



シナイ半島の荒野

①主に信頼し ヘブル4:6～7

ですから、その**安息**に入る人々がまだ残っていて、また、以前に良い知らせを聞いた人々が不従順のゆえに入れなかったので、神は再び、ある日を「**今日**」と定め、長い年月の後、前に言われたのと同じように、ダビデを通して、「**今日**、もし御声を聞くななら、あなたがたの心を頑なにしてはならない*」と語られたのです。

*詩編95:7～8

■救われるべきすべての人が救われるまで、「**今日**」という恵みの時代は続く。



エン・ゲディ

①主に信頼し ヘブル4:8～10

もしヨシュアが彼らに**安息**を与えたのであれば*、神はその後に別の日のことを話されることはなかったでしょう。

したがって、**安息**日の休みは、神の民のためにまだ残されています。

神の**安息**に入る人は、神がご自分のわざを休まれたように、自分のわざを休むのです。

***安息**は、カナンの地のことではない。

主による救い・**永遠の安息**を指している。



①主に信頼し ヘブル4:11

ですから、だれも、あの不従順の悪い例*に倣って落伍しないように、この安息に入るように努めようではありませんか。

*イスラエルの荒野の40年

■イスラエルにも救いの機会が残されている。

➔福音を信じ、イエスをメシアとして受け入れることで!!



シナイ半島・ホレブの山地

①主に信頼し

- 主がイスラエルに、**永遠の安息**を示し続けてきた。
- 今も、**永遠の安息**に至る道が示されている。
- イスラエルとすべての民に、問われ、促されるのは、
主の約束を信頼して、**真実の神の民**となり、
永遠の安息に入れられること。

主の約束を信頼して、永遠の約束に入ろう



②打ち砕かれて

ヘブル人への手紙4章12～13節

ユダの荒野

②打ち砕かれて ヘブル4:12~13

神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。

神の御前にあらわでない被造物はありません。神の目にはすべてが裸であり、さらけ出されています。この神に対して、私たちは申し開きをするのです。

■ 主の前に隠せることはない。

➔ 主を恐れ、謙遜に聞き従うしかない!!



ユダの荒野

②打ち砕かれて

■ 主は心を見る。

神の生きたみことばは、霊肉魂の節々まで刺し通し、暴き出す。

■ 主に信頼する人が、聖書の学びを深めるほどに、
隠されていた罪が暴き出されていく。

■ 否応なしに打ち砕かれて、私たちは、謙遜にさせられる。

御言葉に打ち砕かれて、へりくだらされていく



③御国に近づく ヘブル人への手紙4章14～16節

荒野に割くアネモネ

③御国に近づく ヘブル4:14

さて、私たちには、もろもろの天を通られた、神の子イエスという偉大な**大祭司**がおられるのですから、信仰の告白を堅く保とうではありませんか。

- 主イエスが、真実の大祭司として、
私たちが主イエスの名で祈ったことを、
父なる神へとりなしてくださっている。



雨期の荒野

③御国に近づく ヘブル4:15~16

私たちの**大祭司**は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯しませんでした。が、すべての点において、私たちと同じように試みにあわれたのです。

ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

- 主イエスが十字架で私たちの罪を贖われた。
- きよめられた者として、きよめられつつ、主の似姿へと変えられていく。



雨期の荒野・死海

③御国に近づく

■ 試練に遭い、打ち砕かれた私たちを、主イエスが憐れまれる。

➔ 人となられたメシアは、

私たちの苦しみを誰よりも深くご存じだから。

■ 大胆に主の御座に近づこう

➔ 突きつけられた信仰のチャレンジに応じて、踏みだそう。

自分の力では不可能な道へ、主が力強く押し出される。

御国に近づく、信仰のチャレンジを重ねていこう!!



Ⅲ. まとめと適用

日々、御言葉に打ち砕かれ
御国に近づいていこう!!

エン・ゲディ

- ①主に信頼し** …主イエスの福音を信じて義とされ、
(義認) 永遠の安息が約束される。
- ②打ち砕かれ** …救いは、滅びに至る罪を認める認罪から始まり、
(聖化) 救いの確信は、
罪の自覚を重ねつつ、深められていく。
- ③御国に近づく** …大祭司イエスのとりなしの内に、
(栄化へ) 来るべき御国での栄光の姿へ変えられていく。

救いの道筋の全貌を、いつでも心に刻んでいるか？

適用

私たちは今、どこを歩んでいるのか？

①主に信頼し

(義認)

②打ち砕かれ

(聖化)

→打ち砕かれつつ歩むのが、信仰者の聖化の道

③御国に近づく

(栄化へ)

日々、打ち砕かれつつ、聖化の道を歩んでいるか？

適用

打ち砕かれていくのが、聖化の道

「神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。ヘブル4:12」

■ 御言葉は、私たちの心の奥まで刺し貫き、隠れていた罪を光の下に暴き出す。

■ 逃れようなく突きつけられれば、私たちの選択肢は二つに一つ。

①拒んで頑なにされていくか ②受け止めて打ち砕かれるか

①拒んで頑なにされていくか？

- 「認めたくない」という思いが先立つのが、私たち。
でも、誰も主の問いから逃げおおせることはできない。
- それでもなお、拒み続けていたら、
ついには、主が、頑なにされる。
- 避けようなく、厳しい刈り取りがやってくる。
それでも拒み通して地上生涯を終えるなら、最後は滅びに至る。

- 御言葉に刺し貫かれて、暴き出された私の罪。
主の問いを受け止めれば、打ち砕かれるほかない。
- しかし、憐れみの主は、悔いた心を侮られない。
抱きとめて、喪失からの回復を喜んでくださる。
回心して帰還した放蕩息子を抱きしめた父のように。

参打ち砕かれつつ歩む道は、主の愛に支えられている

適用

拒んで頑なにされる人 打ち砕かれて成長する人

■ 聖書を文脈に沿って、大きな塊として学んで行く。

(一つの章にも、救いの全貌が凝縮されて現れている)

否応なく、刺し貫かれて、隠れていた罪が暴かれていくが…。

■ 拒んで頑なにされる人の特徴の一つは、適用がないこと。

生きた証しがないこと。

■ 打ち砕かれて成長する人は、御言葉に日々を生きている。

たくさんの失敗や悔い改めも含めて、生きた主の証しがある。

■主は、神を愛する者と共に働かれ、すべてのことを益とされる。挫折や喪失の体験も用いられ、信仰に至らせ、深めさせる。

■打ち砕かれては悔い改める。この経験を重ねることの大切さ。日々、打ち砕かれていくのが信仰の道。

■打ち砕かれてきた日々は、私自身にとっても幸いだった。
…最近、否応なく思い起こされた、挫折の経験がある。

★ 日々、御言葉に打ち砕かれつつ、御国に近づこう ★

「神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。ヘブル4:12」

- 信仰者の強さを支えるのは、救いの確信。
打ち砕かれては悔い改める歩みの中で、確信は深められていく。
- 聖徒たちの信仰に学ぼう。ペテロもパウロも、打ち砕かれては、立ち返って、主に強められ、用いられて行ったのだから。

てん とう つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

しゅ あい こ くんれん わたし しれん
主は、愛する子を訓練されます。私たちには試練があります。

う くだ く あらた しゅ はぐく あゆ
打ち砕かれては悔い改め、主に育まれつつ、歩みます。

あゆ なか しゅ あか
この歩みのただ中で、主を証ししていくことができますように。

よろこ かんしゃ よ つか しゅ しめい もち
喜びと感謝をもって世に遣わされます。主の使命に用いてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」